

【Ⅱ 調査結果】

1 発育状態

(1) 身長・体重の県平均値

平成 28 年度の児童等の身長・体重の年齢別県平均値は、表－1 のとおりである。

男女を比較すると、身長は 9・10・11 歳で女子が男子を上回った。12 歳を過ぎると、身長・体重ともに男子が女子を上回り、身長・体重ともに 17 歳でその差は最も大きくなった。（表－1、図－1）

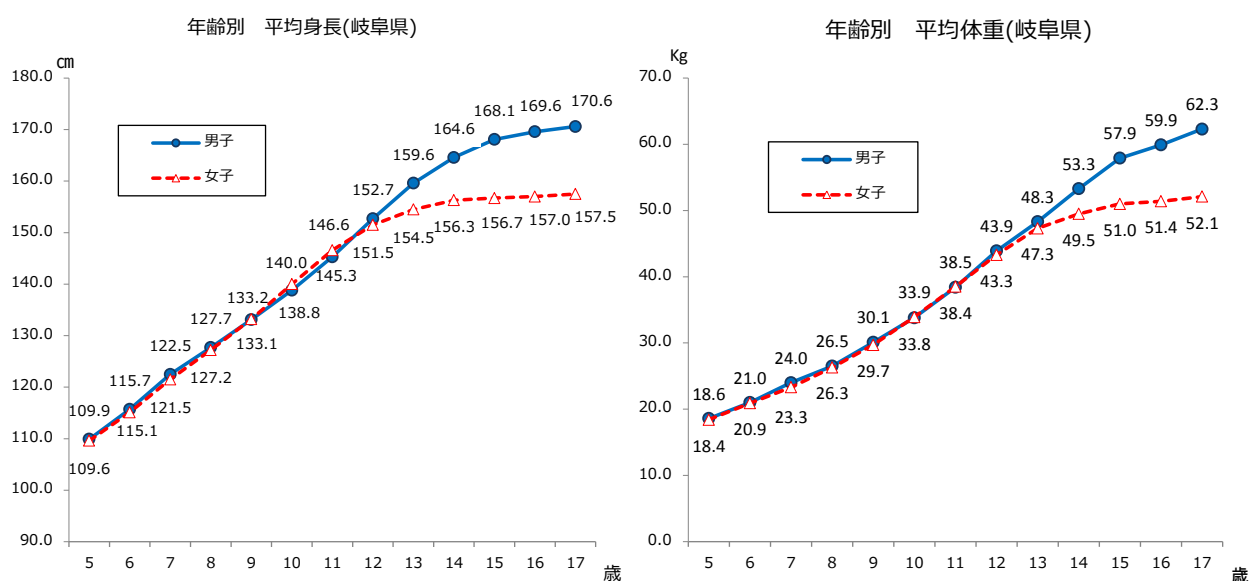
前年度と比較すると、身長では男子が 7・8・10～13・17 歳で、女子は 5・7・9・10・14 歳で前年度を上回った。体重では男子が 7・11・12 歳で、女子は 5・6・10・13～15 歳で前年度を上回った。

（統計表 第 1 表、第 2 表）

表－1 身長・体重の年齢別県平均値

区 分		男 子		女 子		男 女 差(男子-女子)	
		身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
幼稚園	5 (歳)	109.9	18.6	109.6	18.4	0.3	0.2
小学校	6	115.7	21.0	115.1	20.9	0.6	0.1
	7	122.5	24.0	121.5	23.3	1.0	0.7
	8	127.7	26.5	127.2	26.3	0.5	0.2
	9	133.1	30.1	133.2	29.7	△ 0.1	0.4
	10	138.8	33.8	140.0	33.9	△ 1.2	△ 0.1
	11	145.3	38.4	146.6	38.5	△ 1.3	△ 0.1
中学校	12	152.7	43.9	151.5	43.3	1.2	0.6
	13	159.6	48.3	154.5	47.3	5.1	1.0
	14	164.6	53.3	156.3	49.5	8.3	3.8
高等学校	15	168.1	57.9	156.7	51.0	11.4	6.9
	16	169.6	59.9	157.0	51.4	12.6	8.5
	17	170.6	62.3	157.5	52.1	13.1	10.2

図－1 身長・体重の年齢別県平均値



(2) 親の世代（30年前）との比較

平成28年度調査結果における各年齢ごとの発育状態を親世代(30年前:昭和61年度調査結果)と比較すると、身長は男子の5歳と6歳、女子の5・6・15～17歳を除いた年齢で親世代を上回った。体重は男子の5歳、女子の5・15・16歳を除いた年齢で親世代を上回った。

親世代との差が最も大きいのは、身長では男子が12歳(3.8cm)、女子は10歳(1.5cm)。体重では男子が12歳(2.7kg)、女子は10歳(0.9kg)であった。

(表-2、図-2)

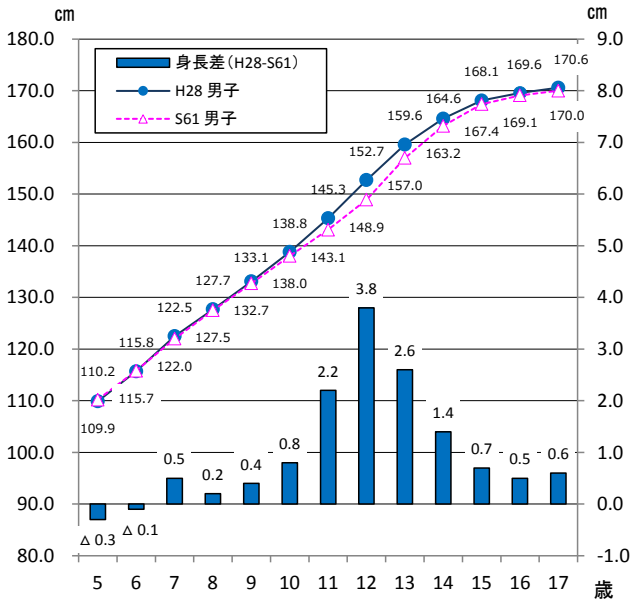
表-2 身長・体重の県平均値(親世代との比較)

区分	身長 (cm)			体重 (kg)			
	平成28年度 (a)	昭和61年度 (b)	差 (a-b)	平成28年度 (c)	昭和61年度 (d)	差 (c-d)	
男 子	幼稚園 5 (歳)	109.9	110.2	△ 0.3	18.6	18.9	△ 0.3
	小学校 6	115.7	115.8	△ 0.1	21.0	21.0	0.0
	7	122.5	122.0	0.5	24.0	23.5	0.5
	8	127.7	127.5	0.2	26.5	26.3	0.2
	9	133.1	132.7	0.4	30.1	29.6	0.5
	10	138.8	138.0	0.8	33.8	32.9	0.9
	11	145.3	143.1	2.2	38.4	35.9	2.5
	中学校 12	152.7	148.9	3.8	43.9	41.2	2.7
	13	159.6	157.0	2.6	48.3	47.0	1.3
	14	164.6	163.2	1.4	53.3	52.1	1.2
	高等学校 15	168.1	167.4	0.7	57.9	57.2	0.7
16	169.6	169.1	0.5	59.9	59.8	0.1	
17	170.6	170.0	0.6	62.3	61.2	1.1	
女 子	幼稚園 5 (歳)	109.6	109.9	△ 0.3	18.4	18.7	△ 0.3
	小学校 6	115.1	115.5	△ 0.4	20.9	20.6	0.3
	7	121.5	121.1	0.4	23.3	23.0	0.3
	8	127.2	126.7	0.5	26.3	25.8	0.5
	9	133.2	132.4	0.8	29.7	28.9	0.8
	10	140.0	138.5	1.5	33.9	33.0	0.9
	11	146.6	145.4	1.2	38.5	37.7	0.8
	中学校 12	151.5	150.9	0.6	43.3	42.8	0.5
	13	154.5	154.2	0.3	47.3	46.7	0.6
	14	156.3	156.3	0.0	49.5	49.2	0.3
	高等学校 15	156.7	157.1	△ 0.4	51.0	51.4	△ 0.4
16	157.0	157.2	△ 0.2	51.4	52.1	△ 0.7	
17	157.5	157.6	△ 0.1	52.1	51.9	0.2	

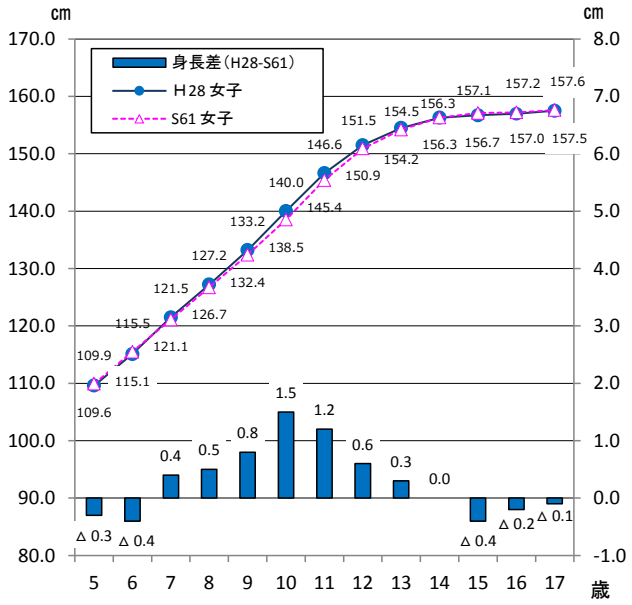
注意) 強調部分は、男女別に差が最大の数値を示す。

図一 2 身長・体重の県平均値（親世代との比較）

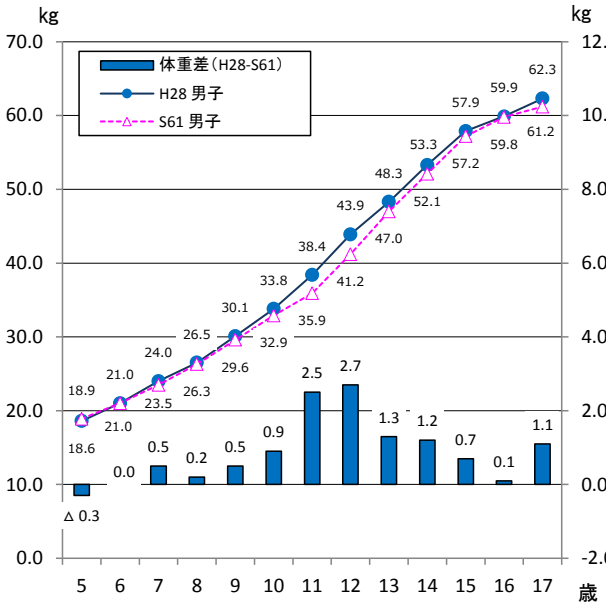
男子・年齢別身長（親世代との比較）



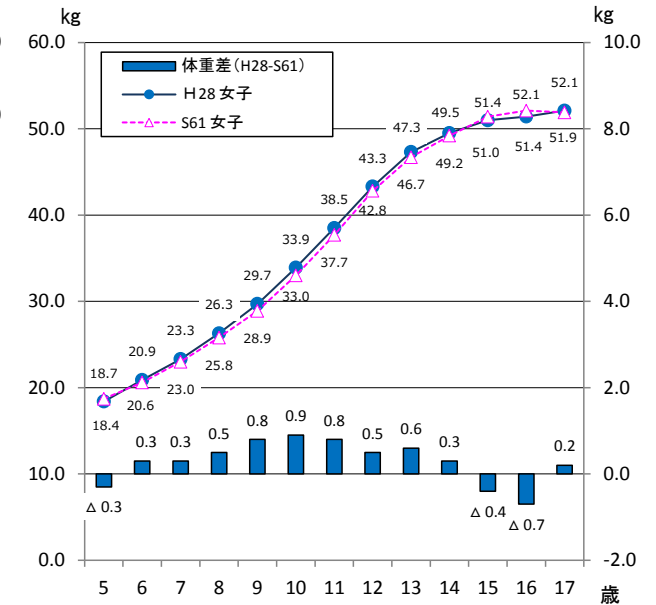
女子・年齢別身長（親世代との比較）



男子・年齢別体重（親世代との比較）



女子・年齢別体重（親世代との比較）



(3) 全国平均との比較

身長は、男子が11歳で、女子が5歳で全国平均を上回ったが、その他の年齢では全国平均と同じか下回った。

体重は、男子は7・11歳が全国平均と同じとなったが、その他の年齢は全国平均を下回った。女子は13歳で全国平均を上回ったが、その他の年齢は全国平均を同じか下回った。 (表-3、図-3)

表-3 身長・体重の全国平均との比較

区分	身長 (cm)			体重 (kg)				
	岐阜県 (a)	全国 (b)	差 (a-b)	岐阜県 (c)	全国 (d)	差 (c-d)		
男子	幼稚園 5 (歳)	109.9	110.4	△ 0.5	18.6	18.9	△ 0.3	
	小学校 6	115.7	116.5	△ 0.8	21.0	21.4	△ 0.4	
		7	122.5	122.5	0.0	24.0	24.0	0.0
		8	127.7	128.1	△ 0.4	26.5	27.2	△ 0.7
		9	133.1	133.6	△ 0.5	30.1	30.6	△ 0.5
		10	138.8	138.8	0.0	33.8	34.0	△ 0.2
		11	145.3	145.2	0.1	38.4	38.4	0.0
	中学校 12	152.7	152.7	0.0	43.9	44.0	△ 0.1	
		13	159.6	159.9	△ 0.3	48.3	48.8	△ 0.5
		14	164.6	165.2	△ 0.6	53.3	53.9	△ 0.6
		高等学校 15	168.1	168.3	△ 0.2	57.9	58.7	△ 0.8
16			169.6	169.9	△ 0.3	59.9	60.5	△ 0.6
17			170.6	170.7	△ 0.1	62.3	62.5	△ 0.2

注意) 強調部分は、男女別に差が最大の数値を示す。

図-3 (a) 県平均値と全国平均値の差(身長)

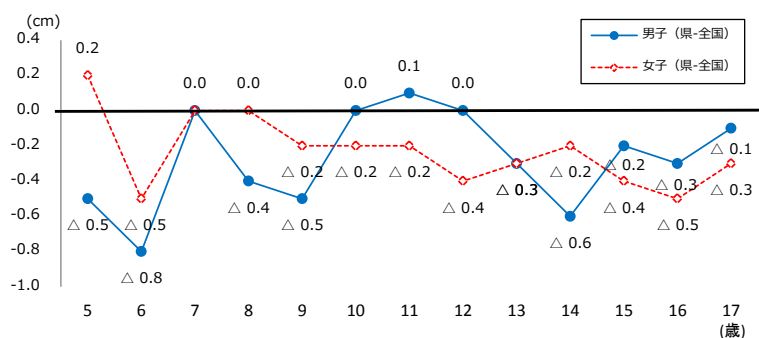


図-3 (b) 県平均値と全国平均値の差(体重)

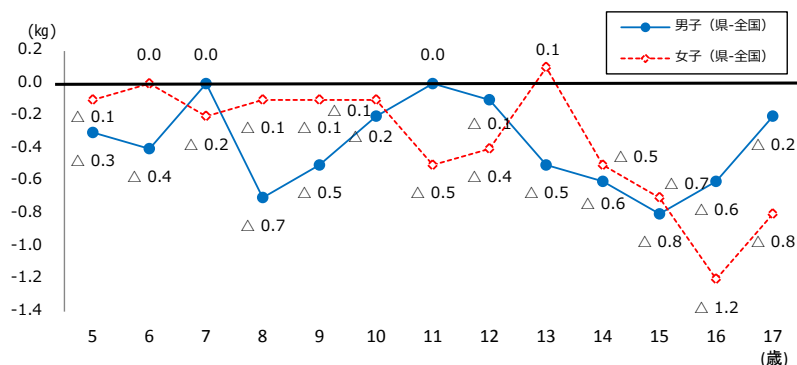


表-4 17歳男女の身長・体重の全国順位

＝身長＝

(男子)

(女子)

＝体重＝

(男子)

(女子)

順位	都道府県名	平均値(cm)	順位	都道府県名	平均値(cm)	順位	都道府県名	平均値(kg)	順位	都道府県名	平均値(kg)
全国平均			全国平均			全国平均			全国平均		
170.7			157.8			62.5			52.9		
1	石川	171.8	1	山形	158.8	1	岩手	65.5	1	栃木	54.3
2	滋賀	171.8	2	千葉	158.5	2	秋田	65.1	2	秋田	54.2
3	福井	171.7	3	東京	158.3	3	北海道	64.4	3	山形	54.1
4	山形	171.4	4	滋賀	158.3	4	石川	64.4	4	北海道	54.0
5	新潟	171.4	5	京都	158.3	5	福井	64.3	5	岩手	54.0
6	京都	171.4	6	秋田	158.2	6	山形	64.0	6	青森	53.8
7	秋田	171.3	7	群馬	158.2	7	青森	63.9	7	新潟	53.7
8	東京	171.3	8	神奈川	158.2	8	徳島	63.7	8	群馬	53.6
9	富山	171.1	9	新潟	158.2	9	大分	63.6	9	熊本	53.4
10	和歌山	171.1	10	兵庫	158.2	10	和歌山	63.4	10	茨城	53.3
11	鳥取	171.1	11	福井	158.1	11	熊本	63.4	11	滋賀	53.3
12	青森	171.0	12	宮城	158.0	12	長崎	63.3	12	香川	53.2
13	岩手	171.0	13	栃木	158.0	13	福島	63.2	13	宮崎	53.2
14	神奈川	171.0	14	埼玉	158.0	14	滋賀	63.1	14	宮城	53.1
15	北海道	170.9	15	大阪	158.0	15	佐賀	63.1	15	福島	53.1
16	宮城	170.9	16	奈良	158.0	16	宮城	63.0	16	大阪	53.1
17	茨城	170.9	17	長崎	157.9	17	栃木	62.9	17	埼玉	53.0
18	埼玉	170.8	18	北海道	157.8	18	鹿児島	62.9	18	奈良	53.0
19	奈良	170.8	19	茨城	157.8	19	埼玉	62.8	19	佐賀	53.0
20	三重	170.7	20	富山	157.8	20	宮崎	62.8	20	千葉	52.9
21	大阪	170.7	21	山梨	157.8	21	富山	62.7	21	神奈川	52.9
22	佐賀	170.7	22	鳥取	157.8	22	山梨	62.7	22	静岡	52.9
23	福島	170.6	23	愛知	157.7	23	東京	62.6	23	富山	52.8
24	岐阜	170.6	24	石川	157.6	24	京都	62.6	24	京都	52.8
25	愛知	170.6	25	三重	157.6	25	愛媛	62.6	25	徳島	52.8
26	千葉	170.5	26	香川	157.6	26	三重	62.5	26	長崎	52.8
27	山梨	170.5	27	青森	157.5	27	新潟	62.4	27	石川	52.7
28	長崎	170.5	28	福島	157.5	28	大阪	62.4	28	和歌山	52.7
29	栃木	170.4	29	岐阜	157.5	29	島根	62.4	29	大分	52.7
30	長野	170.4	30	島根	157.5	30	高知	62.4	30	鹿児島	52.7
31	兵庫	170.4	31	静岡	157.4	31	沖縄	62.4	31	山梨	52.6
32	大分	170.4	32	和歌山	157.4	32	岐阜	62.3	32	長野	52.6
33	鹿児島	170.3	33	山口	157.4	33	鳥取	62.3	33	愛知	52.6
34	岡山	170.1	34	長野	157.3	34	岡山	62.3	34	岡山	52.6
35	山口	170.1	35	広島	157.2	35	茨城	62.2	35	福岡	52.6
36	徳島	170.1	36	高知	157.2	36	千葉	62.2	36	東京	52.5
37	香川	170.1	37	福岡	157.2	37	奈良	62.2	37	福井	52.5
38	熊本	170.1	38	熊本	157.2	38	山口	62.1	38	兵庫	52.4
39	群馬	170.0	39	宮崎	157.2	39	広島	62.0	39	島根	52.4
40	静岡	170.0	40	岩手	157.0	40	香川	62.0	40	三重	52.3
41	広島	170.0	41	岡山	157.0	41	群馬	61.9	41	鳥取	52.3
42	愛媛	170.0	42	佐賀	157.0	42	愛知	61.9	42	広島	52.3
43	宮崎	170.0	43	大分	156.9	43	福岡	61.9	43	愛媛	52.3
44	島根	169.8	44	愛媛	156.8	44	神奈川	61.7	44	岐阜	52.1
45	福岡	169.8	45	鹿児島	156.8	45	静岡	61.6	45	高知	52.1
46	高知	169.6	46	徳島	156.7	46	長野	61.5	46	沖縄	51.9
47	沖縄	169.0	47	沖縄	155.9	47	兵庫	61.5	47	山口	51.5

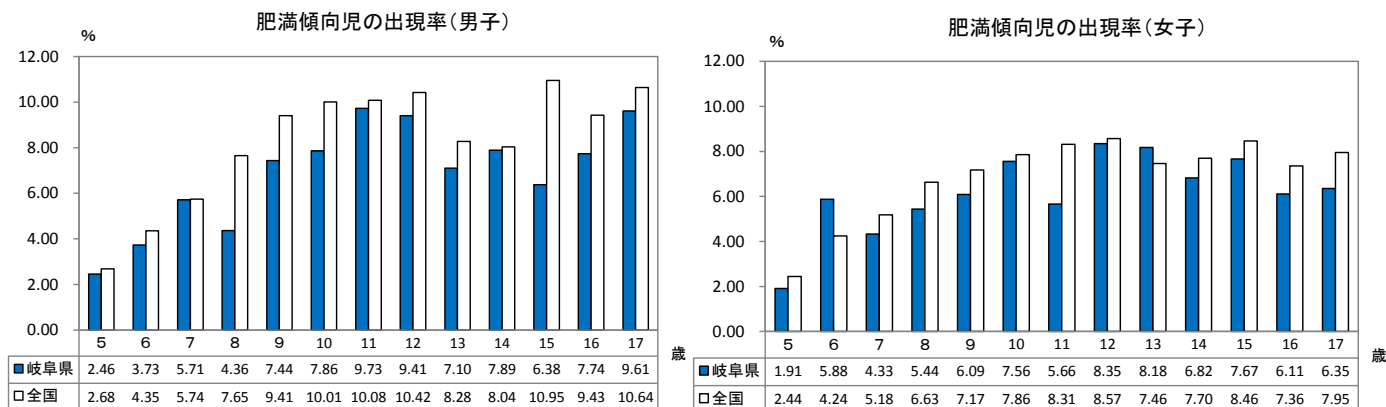
(4) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、岐阜県では男子が11歳(9.73%)、女子が12歳(8.35%)で最も高くなっている。全国平均と比較すると、男子は全ての年齢で全国平均を下回り、女子は6・13歳を除いた年齢で全国平均を上回った。

痩身傾向児の出現率は、男子が13歳(3.04%)、女子が12歳(3.53%)で最も高くなっている。全国平均と比較すると、男子は5・7・10・12・13歳で全国平均を上回り、女子は8・11・14~16歳で全国平均を上回った。

(図-4)

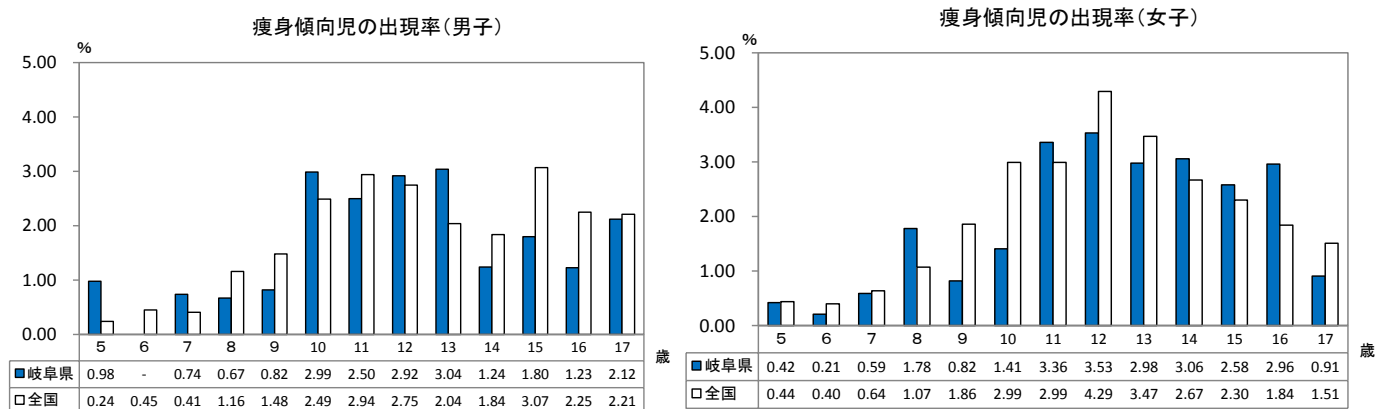
図-4(a) 肥満傾向児の出現率



注意) 肥満傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、この肥満度が20%以上の者

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

図-4(b) 痩身傾向児の出現率



注意) 痩身傾向児：性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、この肥満度が△20%以下の者

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

2 健康状態

(1) 疾病・異常の被患率

平成 28 年度の児童等の疾病・異常の被患率^(注)は、幼稚園・小学校・高等学校で「むし歯（う歯）」が最も高く、中学校では「裸眼視力 1.0 未満の者」が最も高くなっている。（注）高等学校における「裸眼視力 1.0 未満の者」の被患率は平成 28 年度結果では秘匿となっている。

「むし歯（う歯）」のある者（処置完了者を含む）の割合を年齢別にみると、9 歳が 54.9%と最も高くなっている。7 歳以上の年齢でむし歯の処置完了者が未処置歯のある者の割合を上回っている。

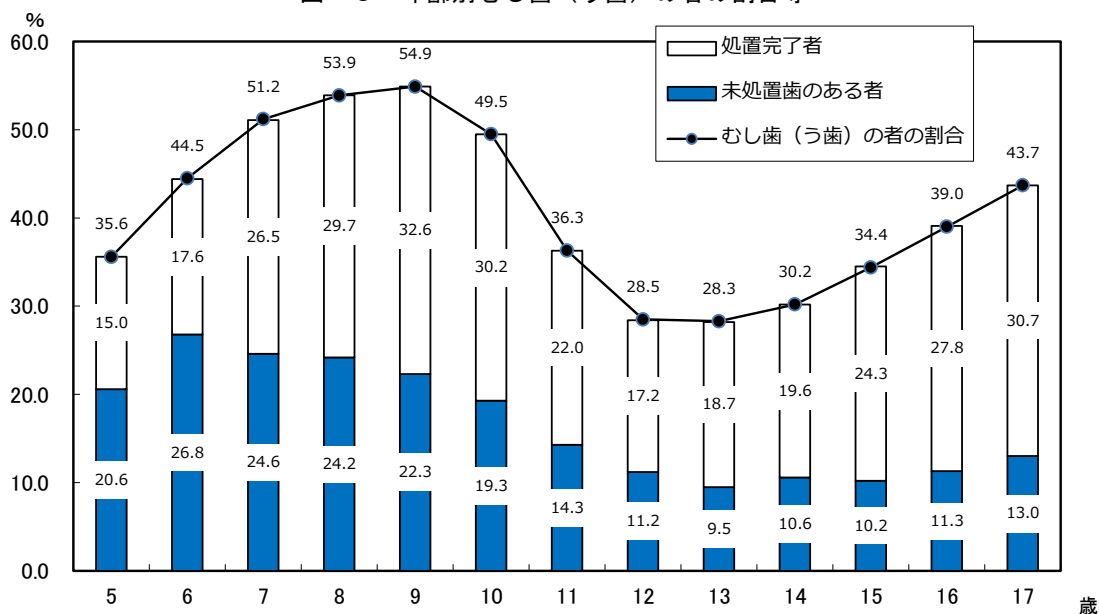
また、中学 1 年生(12 歳)のみが対象となっている永久歯のむし歯の本数については、全国平均の 0.84 本より少ない 0.5 本となっており、国から県別のデータが公表されるようになった平成 18 年度以降全国平均を下回っている。（表－5、図－5、表－6）

表－5 主な疾病・異常被患率

順位	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	区分	%	区分	%	区分	%	区分	%
1	むし歯(う歯)	35.6	むし歯(う歯)	48.4	裸眼視力1.0未満の者	53.6	むし歯(う歯)	39.0
2	裸眼視力1.0未満の者	26.2	裸眼視力1.0未満の者	30.4	むし歯(う歯)	29.0	歯垢の状態	5.7
3	鼻・副鼻腔疾患	8.3	鼻・副鼻腔疾患	14.6	鼻・副鼻腔疾患	9.5	歯肉の状態	5.7
4	歯列・咬合	4.8	眼の疾病・異常	4.4	歯列・咬合	5.6	鼻・副鼻腔疾患	5.6
5	耳疾患	4.1	耳疾患	4.3	眼の疾病・異常	5.2	せき柱・胸郭・四肢の状態	3.9

注意) 高等学校における「裸眼視力 1.0 未満の者」の被患率は平成 28 年度結果では秘匿となっている。

図－5 年齢別むし歯（う歯）の者の割合等



注意) 10 歳から 12 歳において割合が減少するのは、乳歯が生え代わることが影響していると考えられている。

表－6 永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）等数

(単位：本)

年度 (平成)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
岐阜県	1.4	1.2	1.2	1.1	0.9	1.0	0.9	0.6	0.6	0.6	0.5
全国	1.71	1.63	1.54	1.40	1.29	1.20	1.10	1.05	1.00	0.90	0.84

注意) むし歯（う歯）等数には、喪失歯及び処置歯を含む。
全国平均は小数点以下第 2 位まで公表されている。

(2) 全国比較

疾病・異常の被患率を全国平均と比較すると、「むし歯（う歯）」では、小学校・中学校・高等学校で全国平均を下回った。高等学校においては10ポイント近く全国平均を下回った。

「ぜん息」では、全ての学校区分で全国平均を下回った。

「鼻・副鼻腔疾患」では、中学校・高等学校が全国平均を下回った。幼稚園は全国平均の2倍以上の被患率となった。

「アトピー性皮膚炎」では、幼稚園・高等学校で全国平均を下回った。

(表-7、図-6)

表-7 主な疾病・異常の被患率（全国平均との比較）

(単位：%)

区 分	幼 稚 園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校	
	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国	岐阜県	全 国
裸眼視力1.0未満の者	26.2	27.94	30.4	31.46	53.6	54.63	X	65.99
耳 疾 患	4.1	2.83	4.3	6.09	2.3	4.47	0.6	2.30
鼻・副鼻腔疾患	8.3	3.58	14.6	12.91	9.5	11.52	5.6	9.41
口腔咽喉頭疾患・異常	2.3	1.14	1.7	1.38	0.8	0.69	0.1	0.42
むし歯（う歯）	35.6	35.64	48.4	48.89	29.0	37.49	39.0	49.18
アトピー性皮膚炎	1.7	2.39	3.4	3.18	3.7	2.65	2.0	2.32
心電図異常	…	…	2.2	2.44	3.5	3.30	3.1	3.39
蛋白検出の者	0.2	0.65	0.8	0.76	3.3	2.57	3.6	3.29
ぜん息	1.7	2.30	2.1	3.69	2.4	2.90	1.1	1.91

- 注意 1) この表は、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者）の割合の推定値を示したものである。
 2) 全国の数値は小数点以下第2位まで公表されている
 3) 「x」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満又は回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。
 4) 「0.0」は計数が単位未満の場合、「-」は該当者がいない場合、「…」は調査対象とならなかった場合を表す。
 5) 心電図検査については、6歳・12歳・15歳のみ実施している。

図-6 むし歯（う歯）、ぜん息の全国平均との比較

